

## 令和5年度 日南中学校 学校評価アンケート結果 【令和5年6月・12月実施】

- 肯定的評価…A：よくあてはまる B：おおむねあてはまる
- 否定的評価…C：あまりあてはまらない D：全くあてはまらない

### 1.増減…1学期実施したアンケート結果と比較した増減

1. 生活面について	肯定的評価	
	2学期	増減
1 お子さんは、学校生活を楽しく過ごせている。	95	3
2 お子さんは、毎日、歯磨きをしている。	81	-5
3 お子さんは、「早寝、早起き、朝ご飯」（生活リズム）が身についている。	78	5
4 お子さんは、公（おおやけ）の場に適した会話や行動ができています。	84	-3
5 お子さんは、メディア（ケータイ、スマホ、ゲーム、テレビなど）は家庭で約束を決めて時間をコントロールできている。	49	3
6 お子さんは、周りに流されることなく、自分が正しいと思った言動を行うことができる。	73	0
7 お子さんは、困りごとや悩みごとを相談できる友達がいる。	78	8
8 先生方は、悩んだり困ったりしている生徒の相談にのったり助言したりしてくれる。	62	-3
9 先生方は、生徒をよく見てくれている。	62	-5
10 先生方は、子どものよいところを認めたり、ほめたりしてくれる。	70	-3
11 私は、お子さんと、学校であったことをよく話をする。	76	-3
12 私は、お子さんの学校の事（学習・進路、生活・友達）について、よく相談にのっている。	65	-5
13 私は、お子さんのよいところを認めたり、ほめたりしている。	81	3

- 保護者の約95％、教職員は100％が、生徒は学校生活を楽しく過ごしていると思っているが、そうではない生徒もいることを認識し配慮をしていきたい。
- 家庭での歯磨きは、約81％は出来ていると回答をしているが、学校での給食後の歯磨きは、約68％の生徒しか取り組めていない現状がある。引き続き、学校と家庭とが連携した指導をしていきたい。
- 公的な場で適切な言動がとれているかには、保護者の約84％、教職員は約50％しか肯定的な回答をしておらず、1学期より数値は下がっている。普段から、公的な場での適切な言動等について話をしていきたい。
- メディアの使い方については、教職員では約71％、保護者では約51％が課題意識をもっておられるので、学校と家庭が連携をして正しい使い方について指導していきたい。
- 周りに流されることなく自分が正しいと思った言動をとることができることについては、保護者は約73％、教職員は約43％が肯定的な回答をしているが、まだまだ課題意識があり、コミュニケーション力を高めるとともに、善悪の判断と勇気をもった行動がとれるように指導していきたい。
- 困りごとや悩み事を相談できる友だちがいるかは、保護者は約78％、教職員は約86％が肯定的な回答をしているが、普段から関わり合う力の育成や相談にのれるような関係づくりに取り組んでいきたい。
- 委員会や役では、自分の仕事を責任を持ってやりきっているという肯定的な回答をした教職員は約86％であり、学年にもよるが掃除への取り組みには多少課題もみられ、継続した清掃指導を行ってきたい。
- 悩んだり困ったりしている生徒の相談にのったり助言をしていると肯定的な回答をした教職員は約93％と1学期より約20％上がり、保護者の肯定的な回答は約62％で1学期より5％下がった。また、生徒のことをよく見て対応しているかという質問に対しても、保護者の肯定的な回答は約62％で、生徒のことをよく理解し保護者とも連絡をとりながら適切な対応に心がけていきたい。
- 先生方は、生徒のよいところを認めたり、ほめたりしているという肯定的な回答をした保護者は約70％、教職員は100％、また、お子さんのよいところを認めたり、ほめたりしている保護者は約81％おられ、日頃から、ほめたりよいところを認めたりすることを行っているが、自尊心や自己肯定感の高まりに繋がっていない現状がある。引き続き、家庭とも協力をしながら、ほめたりよいところを認めたりすることで成功体験を積み重ね、自尊心や自己肯定感を高める必要がある。

II. 学び続ける力について	肯定的評価	
	2学期	増減
1 お子さんは、進んで学習に取り組んでいる。	57	0
2 お子さんは、宿題等、提出物の期限を守っている。	73	-5
3 お子さんは、宿題・予習・復習・テスト勉強など、毎日家庭学習に取り組んでいる。	59	-5
4 お子さんは、わからないところを人に聞いたり、復習したりして、解決している。	51	-19
5 先生方は、わかる授業づくりや、勉強の仕方アドバイスをしてきている。	46	-5
6 先生方は、学ぶ楽しさ（新たな事ができたり、理解したり）を体験させてくれている。	41	-5
7 お子さんは、目標に向い、自分の学力を伸ばそうと自ら努力を続けている。	62	-11
8 お子さんは、勉強や部活などで、難しいことも最後まであきらめず取り組もうとしている。	65	-3

- 授業の準備をする、時間を守る等の学習規律や学習への主体性、自主性は、1学期より数値が下がっており課題がみられた。日々の積み重ねや授業改善等、学校全体での共通の取り組みを再確認していく必要がある。
- 計画的な家庭学習に取り組んでいるかは、肯定的な回答をした保護者は約59％、教職員は約14％とかなり格差が見られ、かなり低い割合となっている。家庭と連携した取り組みと家庭学習のやり方等の指導ももちろん、学習の必要性なども丁寧に説明していきたい。
- 生徒が分かる授業づくりや勉強の仕方アドバイスをしているかは、保護者の約46％、教職員の約79％が肯定的な回答をしており、保護者の割合が5％下がった。しかしながら、生徒へのアンケート結果では肯定的な回答がかなり低くなった学年もあり、生徒の実態をもとに、さらに教材研究や分かる授業づくり等に努めていきたい。

III. 関わり合う力について	肯定的評価	
	2学期	増減
1 お子さんと、家庭であいさつ（おはよう、ただいま、おやすみなど）をし合っている。	95	5
2 日南中の生徒は、校外で地域の人と出会うと自分からあいさつをしている。	57	22
3 お子さんは、周りの人を気遣った声かけや、思いやりのある関わり（行動）がとれている。	76	0
4 お子さんは、学校生活（学習・行事・部活動）で友達と関わり、高め合うことができている。	81	8
5 お子さんは、家庭で自分の気持ちや思いを伝えることができている。	84	3

- 家庭であいさつは、95％の保護者が肯定的な回答をしているが、学校であいさつは約64％の教職員しか肯定的な回答をしていない。さらに地域の人と自分からあいさつが出来るという肯定的な回答をした保護者は約57％で、家庭以外の場所で自ら進んであいさつが出来るようにコミュニティ・スクールとも連携し、機会ある毎にあいさつの大切さを伝えていきたい。
- 授業中ペアや班の話し合いで、進んで自分の考えを言っているかは、約79％の教職員が肯定的な回答をしており、学校生活で自分の気持ちや意見を相手に伝えることができるかは、肯定的な回答をした教職員は同じく約79％であり、安心して思いが伝え合える人間関係づくりや学級づくり等、関わり合う力の育成に取り組みをさらに進めていきたい。
- 周りの人を気遣った声かけや、人が困っていたり、悩んでいるときに声んで声かけをするなど、思いやりのある行動がとれるかは、保護者の約76％、教職員では約86％が肯定的な回答をしており、人権教育を基盤とした人間関係づくりの充実に更に取り組んでいきたい。
- 学校生活で友だちと関わり合い、高め合うことができているという肯定的な回答をした保護者は約81％で、チームで進んで協力して取り組んでいるという肯定的な回答をした教職員は100％であり、かなり高い割合となった。引き続き、生徒同士の関わり合いや人間関係づくりに努め、自分たちで問題を解決させたり、自治力を高めさせたい。
- 部活動では、部員と協力して準備や片付け等を行っているが、部活の目標を意図した取り組みが弱いようである。今後は、部としての目標や一人ひとりの目標をしっかりと立てさせ、目標を意図した活動を行いさらに充実した部活動にしていきたい。

III. ふるさとを愛する心について	肯定的評価	
	2学期	増減
1 お子さんは、地域の行事や活動に進んで参加した。（町美術館や道の駅、えんがわのイベントなども含む）	70	3
2 私は、お子さんに、ふるさと日南の良さをもっと知ってほしいと思う。	76	-3
3 私は、お子さんと、将来や夢について話をすることがあった。	81	0
4 私は、お子さんと、ふるさと日南の未来について話をすることがあった。	41	-5

- 地域の行事や活動に進んで参加しているかは、保護者の肯定的な回答は約70％で、教職員の働きかけは約64％であり、新型コロナウイルス感染症の影響もなく地域からの情報を受け、学校としても積極的な参加を促す声かけ等を行い、地域とのつながりも意識させていきたい。
- 日南の良さをもっと知ってほしいと思うについては、保護者は約76％、教職員に関しては100％が肯定的な回答をしているが、家庭で日南の未来について話しているという肯定的な回答は約41％と低く、様々な場面で日南の良さや未来について考えさせる時間（高校生の話、ゲストティーチャーの話を）を作りたい。
- 生徒は、自分の将来や夢について考えることがあるかについて、肯定的な回答をした保護者は約81％、教職員は約86％と高くなった。進路指導や高校調べ、ふるさとキャリア教育等の取り組みの成果が現れたと考えられる。今後も、機会を見つけ、自分の将来や夢について考えさせる時間を作りたい。

IV. 学校の取組・連携について	肯定的評価	
	2学期	増減
1 学校は、教育目標や身につけて欲しい力などわかりやすく伝えている。	38	-22
2 学校は、生徒や親の願い、思いを聞くとう心がけ、丁寧に対応している。	65	0
3 学校は、学級便り、ホームページ、電話、家庭訪問などを通して学校の様子を伝えている。	81	-3
4 学校や町の便りなどを通し、コミュニティ・スクールの目的や活動は理解している。	70	8
5 私は、学校からの便りや配布物には目を通している。	78	-3
6 私は、参観日や行事などできるだけ学校へ行くようにしている。	76	-11
7 私は、子どものことで心配なことやわからないことがあれば担任等に連絡するようにしている。	78	3

- 学校目標や身につけてほしい力などが分かりやすく伝えているかは、肯定的な回答をした教職員は約93％であったが、保護者は1学期より22％低い38％となり、かなり課題が見られた。日頃から保護者や生徒たちへ更伝えていきたい。
- 生徒や保護者の願い、思いを聞くとう心がけ、丁寧に対応していると肯定的に回答した教職員は100％であったが、保護者は約65％にとどまり、生徒・保護者に寄り添った対応や関係づくりにも努めていきたい。
- 学校だより、ホームページ、電話、家庭訪問等を通して学校の様子を伝えていると肯定的に回答した教職員は100％であったが、保護者の約81％しか肯定的な回答はなく、今後、さらに様々な媒体を活用した情報発信に努めていきたい。
- 学校や町の便りなどを通してコミュニティ・スクールの目的や活動を地域（保護者）が理解していると肯定的に回答した教職員は約50％、保護者は約70％で、コミュニティ・スクールの理解やCSサポーターを活用した取り組み等の充実を図ってきたい。
- 学校からの便りや配布物等に目を通したり、参観日や学校行事などで学校に来られている保護者は約8割近くおられ、多くの保護者が学校やお子さんの教育に関心を持たれている。一方、お子さんのことで心配なことや分からないことがあれば担任等に連絡をされている保護者は約8割弱で、引き続き、保護者との信頼関係づくりに努めていきたい。

### V. その他、学校へのご意見ご要望があればお書きください。

- 回答を全部記入するのを何とかなりませんか。せめて〇とか。
- インターネットや「すぐーる」等も活用してご負担の少ない方法で実施できるようにしていきたいと思います。
- 1学期が始まったところで、先生としっかり話をしたこともないので、学校での様子は分かりません。子どもから聞く話のみです。
  - PTA総会后、担任に声をかけてもらえたらどうかと時間確保計してみます。
- いつもお世話になり、ありがとうございます。文化祭を町の「ふるさとまつり」の日にする必要があるのでしょうか。日南中は毎年スポレクに参加できません。もしするならもっと町の人にも来てもらえるように宣伝をしてほしいと思います。
- スポレク大会と文化祭が重ならないように日程調整をしてほしい。部活によっては大会自体がほとんどないため→スポレクの日程が正式に決まるのが年度が始まって以降であり、町と協議を行い、調整をしていきたいと思います。
  - 今年は、ねりんピックの関係もあり、11月2日(土)のふるまつりの日に行う予定です。
- 家と学校との距離が近くないので、帰宅時間については前もって知らせてほしい。「日南町長であれば知って当たり前」のことも共有してもらわないと分からないことの方が多いため丁寧に説明してほしい。
  - 「すぐーる」等を活用してこために連絡をしていきたいと思います。
- 今後、アンケートもインターネット経由で答えられるようにしてほしい。
  - インターネットや「すぐーる」等を活用してご負担の少ない方法で実施できるようにしていきたいと思います。
- 中学校のホームページの体育祭のモザイクアートがRSに変わらないのですが、今年度のモザイクアートは掲載されないでしょうか？昨年年度とやり方がいろいろ変えられておられる様ですが、生徒が納得するように説明はされていますか？子ども達は先生に対して不反感がある様です。
- ホームページのモザイクアートはRSに更新しました。行事等の取り組みは、生徒と意見を交わしながら進めています。が、今後は生徒の納得のいく説明をしっかりと取り組んでいきます。
- コミュニティスクールCSボランティアに保護者にも声をされたらどうでしょうか？活動の事も知ってもらえらと思います。
- コミュニティ・スクールの周知も含めて、今後、保護者さんにも声かけができたと思います。
- 子供達に「あいさつ」と言いますが、親が、あいさつしていません。体育祭の朝、そう感じました。
- 学校運営協議会でも、町をあげての「あいさつ運動」に取り組んでおられます。学校も、教職員から率先してあいさつを行い、自ら進んであいさつのできる生徒を育てるとともに、保護者への協力依頼も行っていきたいと思います。
- えんがわの先生、駅ではなく中学校近くに教室を作って下さると良いかな？と思います。
- 教育委員会にも伝えているところです。
- マスクをはずせない子供が心配です。
- マスクの着用については、体調等必要性を考慮して個人判断に任せています。